

That's市民力



発行:長崎市民協働推進室 〒850-0022長崎市馬町21-1 TEL 095-829-1125 FAX 095-829-2925

H26.7.15

H26.7月号

THAT'S市民力7月号

自分新化講座開催決定！ 1

これって協働？
～地域おこし協力隊～ 1

市民協働研修開催！ 2

ちゃんぼんミーティング開催！ 2

協働の芽見つけた！ 2

JICAの視察を受け入れました 2

自分新化講座開催決定！！

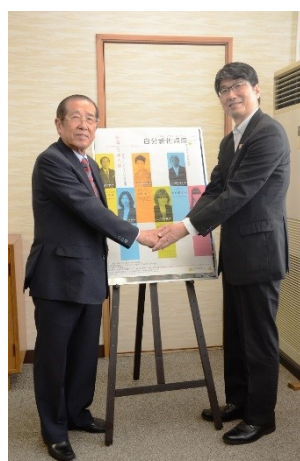
毎年大好評の自分新化講座を今年度も開催します！

4年目の今年は、1年目にプロデューサーをお願いした福地茂雄氏(アサヒビールホールディングス株式会社相談役)の再プロデューサーです。

今回も長崎ではめったに聞かない豪華講師のラインナップで、さらにパワーアップして開催します。

7月8日(火)に福地プロデューサーが長崎伝習所総長(市長)を訪問し、今年の開催の報告をしました。

7月22日(火)からチケット発売開始です。ぜひお買い求めください！詳しくは長崎伝習所ホームページで。



7月8日に福地プロデューサーが市長を表敬訪問！

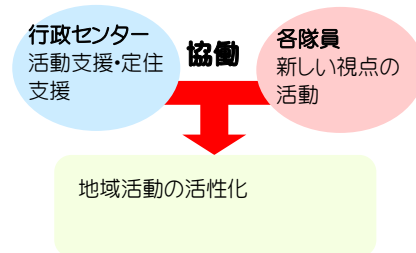
日時	講師
9月19日(金) 19時～21時	福地茂雄氏(アサヒグループホールディングス相談役)
10月30日(木) 19時～21時	平野啓子氏(語り部・かたりすと・元NHKキャスター)
11月26日(水) 19時～21時	水戸岡鋭治氏(デザイナー・イラストレーター)
12月17日(水) 19時～21時	桑野和泉氏(由布院・玉の湯代表取締役社長)
1月15日(木) 19時～21時	残間里江子氏(プロデューサー)
2月12日(木) 19時～21時	小篠ゆま氏(ファッションデザイナー)

これって協働？ ～地域おこし協力隊～

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化等の進行が著しい地区において、地域外の人材を誘致し、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取り組みで、長崎市では現在5名の隊員が活動中です。

行政センターが、隊員の活動支援・定住支援をすることで、行政だけではできない新しい発想や行動による新しい視点での取り組みが生まれてくるなど地域の活性化につながってきています。

野母崎地区の隊員は、地域資源を活用した「軍艦島と夜光虫クルージング」などの新たな企画のほか、現在は、閉店したレストランを活用したコミュニティカフェ「リップル」の運営にも力を注いでおり、コミュニティカフェが地元の人も地域外の人も集まる場所となり、野母崎地区の魅力発信、交流活性化につながっていくことが期待されています。



※活動の様子は7/25(金)の「ケーブルワイドなんでんCafe」の再放送でご覧いただけます

市民協働研修開催！

7月1日(火)、IHOE(人と組織と地球のための国際研究所)代表の川北秀人氏を講師に迎え、市民活動団体を対象とした市民協働研修を開催しました。

今回のテーマは、「協働の可能性を探る～事業の精度を高めよう～」。地域課題を解決していくために、団体がやりたいことではなく、地域から求められていることは何か、それを解決していくには、誰とどう協働していけばいいのかについて、講師から全国の事例をご紹介いただくとともに、協働事業を提案する際に必要な、「ニーズを説明する」方法について解説していただきました。

研修後半では個人ワーク「自分たちの活動をにニーズから説明する」を行いました。

ニーズを的確に把握し、団体が何をできるのかを相手に伝える難しさ、大切さを実感できる研修でした。

研修をきっかけに、行政との協働、企業との協働、団体同士の協働、そして地域が一体となって取り組む「総働」へと広がっていくことを期待します。

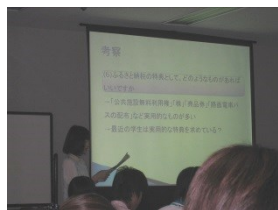


協働の芽見つけた！

6月26日(木)、税制に関する調査・研究に取り組んでいる長崎大学経済学部の学生12人が、長崎市収納課へ『ふるさと納税の大学生へのPR』というテーマで提案を行いました。

大学生は3グループに分かれ、大学生に対してのアンケート調査や他都市のふるさと納税の状況等調査を実施。それをもとに長崎市のふるさと納税について提案しました。「納税といわれると義務に感じてしまうので、寄付であることがわかるネーミングがいいのでは」「ふるさと納税の使い道が漠然としているので、もっと具体的な事業名をあげて、見える化してはどうか」など様々な提案が出されていました。

協働はまず意見交換から。今後、提案の具体化に向けてさらに意見交換しながら進んでいくことを期待します。



ちゃんぽんミーティング開催！

6月26日(木)、「健康づくりで地域を元気に！」をテーマにちゃんぽんミーティングを開催しました。

今回は、地域で運動や食育を通して健康づくりを行っている団体や高齢者ふれあいサロンを運営している団体、そして個人で健康づくりに取り組んでいる方15人が参加されました。

まずは、ちゃんぽんをいただき、お腹がみたされたところで自己紹介。地域でがんばっている方々の活動内容などは非常に興味深いものばかりでした。

意見交換していく中で、うまく周知ができていないこと、新しい参加者を入れることができず、参加者の循環ができていないこと、男性の参加者が少ないことの3つが共通の課題として浮かび上がってきて、それぞれについてそれぞれの団体がどのように取り組んでいるかなどの意見交換がなされました。

ちゃんぽんミーティングは、様々なテーマで今後も月に1回開催していく予定です。興味があるテーマの際は、ぜひご参加ください。



JICAの視察を受け入れました

6月25日(水)、JICA(独立行政法人国際協力機構)の視察を受け入れました。

今回訪れたのはJICAの「環境教育」コースの14人。長崎ならではの環境について学びたいという先方の意向もあり、今回は、「環境保全教育研究所」と「もってこい長崎レクリエーショングループお手玉の会」の皆さんにもお手伝いいただきました。

視察に来られた皆さんは、発表を熱心に聞き、次々に質問が飛び出していました。

また、発表した団体も自分たちの活動を言葉が通じない相手に伝えるという貴重な経験を通して自分たちの伝えるスキル、活動内容の見直しにもつながったようです。

海外からのお客様は少ないですが、市民協働推進室では、年に5件ほどの視察を受け入れています。

